

学校目標

自ら考え行動し、
友と共に夢ふくらませる真土っ子

【R8年度の重点課題】

- 子どもが主体に学ぶ授業の継続的な実践と検証
- 「心の握手」となる挨拶が自然にできる風土の醸成
- 学校環境のユニバーサルデザインの推進
(子どもの「学びやすさ」と教職員の「働きやすさ」)
- 「気づき」の共有と即時的な実践や修正（OODAループ）

めざす子ども像

健やかな子	心豊かな子	自ら学ぶ子
○あいさつをしっかりとする ○心身の健康に関心をもち、自他を大切に ○うまくいかないことがあっても、すぐにあきらめずに、チャレンジし続ける（レジリエンス）	○友達に心を寄せて優しく関わろうとする ○自分と異なる考え方を受け止め、理解しようとする ○友達と進んで力を合わせて創ることを楽しもうとする	○よく聞き、よく考え、進んで行動し、そして振り返る ○学んだことを生活につなげて考えて、さらに生かそうとする ○自分の可能性を信じて学び続ける（自己効力感）

【学習指導の改善の重点】

- 授業を高める学校風土の醸成（学校研究を核としながら）
- 子どもの学びの実態に合った学習カリキュラムの編成（教科横断的なカリキュラム編成）
- 子ども一人一人に応じた学習支援（個別指導・習熟に応じた学習）
- Chromebookの活用の推進と検証
- 地域との「つながり」を生かした学習の推進

日々の授業

【生活指導の重点】

- みんなが生活しやすい環境づくり（ユニバーサルデザインの推進）
- 特別支援教育の推進（普通級においても視点に入れる）
- 児童指導に関わるチーム連携のさらなる構築とあり方の検証（ケース会議、SC、外部機関などと「チーム」としての連携）
- 教育相談コーディネーターチームを核として児童の変化の早期発見と早期共有及びその解決までの対応

<「教職員チーム」>

「オープン」で「支え合う」関係
学びたくなる職場環境（「場・時間・もの」をつくる）

新しいアイデアの創出
チャレンジする気持ち

<計画的で継続的な検証>
PDCAサイクルと
OODAループの視点で

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）⇒【「つながり」を広げる】

家庭

授業参観・学年学級懇談会・教育相談
+【保護者（同士）のつながり】
授業ボランティア参加
保護者参加型授業
など 関わり合う「場づくり」を推進

学校

教育内容の発信
(通信発行[学校・保健・図書室・学年学級]・メール配信など)
学校教育の実態の把握と分析や対応
(各種調査や評価など)
+【学校「外」のつながり】
公共施設や地域材とつなげた学び

地域

地域(ひと・もの・こと)を学びに活用
(公民館、地域組織、地域産業など)
幼保小中との連携
+【地域全体のつながり】
地域がつながる(コミュニティ形成)場としてできること